關大
発行所
関西大学校友会
〒564 吹田市山手町3-3-35
発行人 辻見重行
電話 06(388)1121 代表
FAX 06(380)8476
振替口座大阪3－55594番

新しい包装文化をひらく
ザ・パック

# 第59回 定例代議員会開く

## 事業計画・予算案を承認

校友会の第五十九回定例代議員会が三月二十七日午後一時半から母校千里山キャンパスの一〇〇周年記念会館ホールで約四百人の代議員が出席して開かれた。執行部から提案された平成五年度の事業計画書と収支予算書について審議、いずれも拍手で承認された。これにより、校友会の二大イベントである校友総会と組織代表者会議の開催と日程が決まった。校友総会は十月十七日（日曜）、組織代表者会議は九月十一日（土曜）にいずれも関西大学一〇〇周年記念会館で開く。

代議員会は定刻に開かれ、徳山喜昭副会長の開会挨拶のあと、全員起立して学歌を斉唱。大学関係者、校友国会議員らの来賓紹介に続いて植垣幸雄会長が「新しい年度の事業計画と収支予算の審議をしていただく重要な会議であり、円滑に会が進むようお願いします」と前置きして、「平成四年度は四年に一度の法人評議員選任と大名簿発刊の大きな課題と取り組み、みなさんのご協力で無事乗り切ることが出来た。五年度は我々の任期の最後の年であり、終わりを全うしたいと決意し、基本計画を作成した」と、挨拶を締めくくった。

引き続いて上田繁潔理事長が挨拶、高槻キャンパスに開設する総合情報学部と天六学舎の千里山移転について「最後の準備の年で、今後を左右する大切な事業だけに成功させねばならない」と、決意のほどを明らかにした。また大西昭男学長は、十八歳人口の減少問題について「心配していたが考えていた以上のよい結果を得た。就職も一〇〇%に近い。今後も奥行きのある人物を社会に送り続けたい」と述べ、母校の健在ぶりに、代議員たちも安心の表情をみせていた。

400人が出席して開かれた第59回定例代議員会

議事に入り、畑下辰典議長と津川正幸副議長が登壇。まず「平成五年度事業計画書」が提案され、総務、事業、広報、組織の各部長から提案理由の説明があり、原案どおり承認、可決された。つぎに「収支予算書」について財務部長から提案理由が説明され、採決の結果、拍手で可決された。

午後三時、山本守昭副会長が閉会を告げた。今回は、千葉、東京、石川、福井、愛知、三重、岡山、広島、徳島、香川、山口、福岡などから例年以上に多くの代議員が遠隔地から参加、司会者から一人々々が紹介された。

このあと、同じ会場で有志による懇親会が開かれ、久しぶりに顔を合わす友人たちが明るく挨拶をかわし、情報を交換しながらのなごやかなひとときを過ごした。逍遥歌を最後に、再会を約しながら散会した。

### 9月11日 組織代表者会議

### 校友総会は10月17日

## 事業計画の内容

平成五年度は、校友会現執行部の任期最終年度に当たるため、任期中の大きな事業項目である「組織活動の促進」と「財政基盤の確立と整備」に関し、残された期間、全力を傾注する。

二十四万校友の〝人の親和〟の発揚につとめる傍ら、財政の長期安定強化のための端緒として「校友会基金」を設定するなど、広く校友の理解を得て、会務が円滑に進められるよう万全を期したい。

なお、校友総会以降には、役員の任期満了にともなう代議員・常議員・その他本部役員の選出が行われ、年度内には新執行部の成立を見ることになる。

本年度の主要な事業計画は次のとおり策定した。

**一 校友総会の開催と役員の改選**

平成五年度校友総会は、十月十七日の日曜日に母校千里山キャンパス「関西大学一〇〇周年記念会館」で開催する。

本年度総会も「卒業年次・学部の枠を超えて、校友なら誰でも、自由に参加し、秋の一日を母校に集う」という基本方針のもと、これまでの実績を踏まえ、校友が楽しく参加できる総会を企画する。

なお、総会では「任期満了による代議員の改選」が付議され、以後十二月下旬までに選考答申を行い、一月には新代議員が委嘱される運びである。

**二 スプリングフェスティバルの開催**

校友会が一〇〇周年記念行事として始めた「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」も、校友とその家族をはじめ、恩師・教職員とその家族、現役学生をも含めた関大ファミリーの楽しい春の祭典として、すっかり定着。校友会組織、ゼミOB会、クラブOB・現役交歓会なども年々活発に開催されるようになってきた。

第八回目を迎える本年度も、大学の全面的協力のもと、大学関係者の物故者遺族をお招きするなどの企画をとり入れ、四月四日の日曜日に母校千里山キャンパスで開催する。

**三 名簿事務の推進**

校友が実社会で活躍することは、母校の声価を高める大きな要因の一つになっている。

校友会には、機関紙「関大」の毎月郵送などの事業によって、校友の住所の把握と消息について比較的精度の高いデータが管理されているが、各組織の名簿等を参照して連絡不能校友の解消につとめ、より精度の高い名簿データの整備を進めていく。

昨年度はその成果として、四年目ごとに発行する全校友収載の「平成4年版校友名簿」を内容を充実させ刊行した。

**四 新聞「関大」の発行**

昭和三十年の創刊以来、年十一回の発行を続けてきた「関大」は、平成五年四月には第四二九号、紙齢三十八年を数え、卒業生を対象にした新聞として全国の主要大学の中、類のない歴史と内容を誇っている。

発行部数も十万部を超えた現在、平成五年度も現行の発行体制を前提に、母校のキャンパス情報を広く校友に伝えるとともに、あらゆる校友・組織の紙面参加を求め、全校友の友好の場となるよう紙面構成を考え、「校友と母校・校友同士を結ぶ架け橋」として、読者のニーズに応えられるよう内容の充実に努力していく。

この一年間に、第四二九号から第四三九号まで十一回、毎月平均一〇三、五〇〇部を発行する。

**五 組織活動の促進**

組織活動の促進は、校友会活動の重要な課題である。本年度も校友会の基盤の拡大と充実のため、「在住校友リスト」などを活用して根気強く支部の活性化につとめ、停滞支部の一掃を期したい。

なお、本年度の全国組織代表者会議は、九月十一日の土曜日、「関西大学一〇〇周年記念会館」で開催し、任期三年間のまとめとしての「パネルディスカッション」を、母校教授との交流も勘案して企画する。

**六 事業活動の推進**

校友の教養に資する催しとして、昭和四十五年以来継続実施している見学会の開催、支部相互の交流と親睦を図る催しとして、一〇〇周年を機に生まれた支部対抗親睦ゴルフ大会の開催など、定着した継続事業を実施する。

また、在学生に対しては、本年度より新たに全学生が参加する学園祭の援助を行い、相互理解に資するとともに、課外活動等諸活動の振興のためにも積極的に協力していく。

**七 校友カードの推進**

平成二年九月にスタートした「関西大学校友カード」は、順調な成果を挙げて、現在約一五、〇〇〇名の入会者を確保している。

本年度も、「カードを通じてひろがる〝人の親和〟」を基本理念に、入会の促進をはじめ、校友にとってさらに価値あるカードとなるよう努め校友の友好の絆を深めたい。

**八 財政基盤の確立と整備**

会費収入という限られた財源で運営されている校友会財政は、卒業生の自然増、送料の負担等に起因して、新聞郵送料が全体予算の四割を占めるなど、財政の硬直化を来し、財政の健全化が年を追って深刻な問題となっている。

こうした経緯を踏まえ、その打開策の一環として平成二年度から「会費の改訂」「校友カードの導入」に踏み切った結果、校友の多大の協力を得て、当面の見通しを立てることができた。

本年度は、校友会活動のより積極的な事業活動を目指し、各事業を見直して、円滑で効率的な財政運営ができるようつとめるとともに、財政の長期安定強化を目指すための手掛かりとして「校友会基金」を設定し、財政基盤の確立を図っていく。

**九 会員の慶弔**

会員の親睦・交流は大きな事業目的であり、情報の交換につとめ、慶意、弔意、激励、その他の意を表し、親和の実を挙げていきたい。

**十 教育後援会との連絡提携**

教育後援会は、在学生の教育指導に関し、大学と家庭との連絡機関であり、毎年一回大学で開く総会には七、〇〇〇名に及ぶ父母が出席。また毎年夏に行われる教育懇談会は、全国の都市で盛大に開催される。

校友会では、これら諸行事に会長ほか役員が出席するなど、大学当局ならびに父母と校友会との交流をはかり、ともに連絡提携して母校の発展に寄与するよう努めたい。

## 校友会事務局長に辻見氏

### 金田前局長は退職

校友会の金田雅一事務局長（七五）が、三月三十一日付で退職し、後任に学校法人から出向の総務局・参事、辻見重行氏（六二）が四月一日付で就任した。

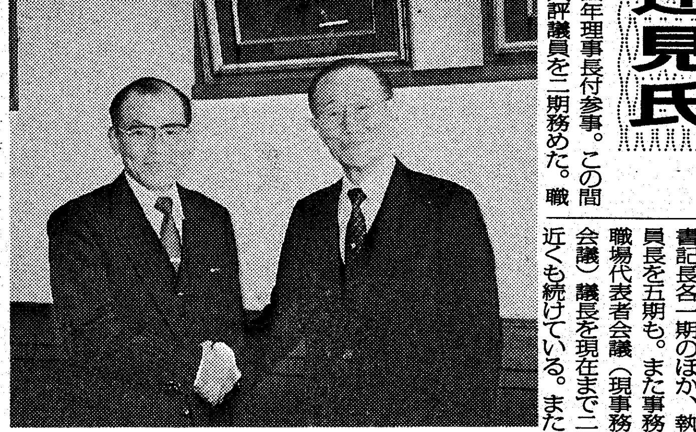
辻見新事務局長は「校友会は大学の構成員の大きな四本柱の一つ。今後は関西大学発展のために、校友会の側から全力を尽したい」と、抱負の一端を述べた。

退任した金田氏は、昭和五十七年、校友会参与の神屋敷民蔵氏からバトンを受けて二代目の事務局長に就いて十一年間、病身にもかかわらず、立派に重責をはたしてきた。

金田氏は「微力なわたしがつとまったのもみなさまのお陰。関大校友会は他大学にはみられない強力な組織で、さらなる発展を祈っています」と、たんたんと話していた。

◇

辻見氏は昭和二十八年関西大学法学部卒業、同年本学職員になり、厚生課長、学生課長、高等学校・中学校事務局長を経て六十年総務局長。平成四年理事長付参事。この間法人評議員を二期務めた。職員組合歴も長く、副委員長、書記長各一期のほか、執行委員長を五期も。また事務職員職場代表者会議（現事務職員会議）議長を現在まで二十年近くも続けている。また日本拳法八段の猛者。現役時代、関関戦で十二人抜きという離れ技をやってのけ、日本拳法生みの親、沢山宗海師範から即日昇段を許され四段になったという異才。徳島県出身。


笑顔で交代の握手をする金田氏（右）と辻見氏

## 社会心理学会会長に廣田氏

日本社会心理学会が東京でこのほど開かれ、理事の互選により会長に関西大学社会学部教授、廣田君美氏を選んだ。任期は四月一日から二年。

来年度の同学会は、平成六年秋、関西大学で開催される予定。

## 名誉教授に9氏

「関西大学名誉教授」称号授与式が四月一日午前十一時から関大会館で行われた。在職中の功績をたたえて、同称号が贈られたのは次の九人の教授で、三月三十一日付で定年退職している。（敬称略）

本浪章市（法学部）▽荒井政治（経済学部）▽寺尾晃洋（商学部）▽小沼啓助、片山佐一、杉原清、田中行雄、森田正信、米澤博（以上工学部）

## 葦の雫

今年の桜は長命だった。といっても一週間か十日ほど。やっぱり散った。いつのころからか、桜が去ると年を一つとったように思うようになった。当然、正月にもとってしまうので合わせて二つ。両手両足で月日を押し戻したい気持になる▼入学式、入社式のシーズンでもある。小学生一年生、社会人一年生……一目でそれと分かるニューフェイスが、巷にあふれている。目はキラキラ、声が弾み、身体は躍動している▼一方、甲子園球場では、センバツ高校野球大会。グラウンドとスタンドに青春が充満、この世代ならではの素晴らしい爆発を今年も見せてくれた。若さが前から後ろから、左から右から一挙に押し寄せる。十二枚のカレンダーの中でも妙に息苦しく感じる時季だ▼将棋の名人位の挑戦者に決まり、さすがとファンをうならせている四十九歳の米長邦雄九段が「ピチピチの若い棋士と将棋盤を囲み、語り、遊び、酒をくみかわす道場をつくった。盛りを過ぎた我々の〝力〟を維持するにはこれしかない」と、書いていた。敬遠せず、上手につきあいながら、その貴重な生命力に触れ続けることが、老いの中に埋没しない秘けつかも▼校友会の春の行事、スプリングフェスティバルも桜花に抱かれるように華麗に開幕。〝初店〟の俳句コーナーもにぎわい、まずは成功。公私とも大忙しの生活ゆえと察しがつくが、若い校友が全国から集まってくれるようになればと、願わずにはいられない▼校友会活動をステップからジャンプへ加速させるには、若者たちの支えがなんとしてもほしい。各界で活躍する特に三十代、四十代の卒業生が、母校とつながる糸をほんの少したぐり寄せてくれれば、〝老い〟の心配などふっとんでしまう。

# 華やかにパレード

## 春爛漫

## 花の母校に素晴らしい一日

### '93スプリングフェスティバル

「母校はやっぱりいいなあ！」——桜を見上げながら晴々とした表情を見せる校友たち。「'93スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」は、四月四日、関西大学千里山キャンパスで開かれた。今回は平成になって最高の約五千人の人出を記録、東京や四国などの遠来組をはじめ、ブラジルからの参加もあって、桜のキャンパスは久しぶりに校友でごった返した。毎年この機会に大学側の全面的な協力で開放された教室などを利用して、校友会の各組織の会合、ゼミやクラブのOB会などが開かれるが、今年も約四十団体が総会や懇親会を開き、昔に戻って〝若々しい〟声があちこちに飛びかった。

花曇り。四月の声を聞いて一挙にほころんだ千里山キャンパスの自慢のサクラも、可憐な花びらをいっぱいに広げて校友たちを出迎えた。心配された空模様も味方して、出足はよかった。開会の午前十時には待ちかねたように総合図書館前に設営された受付テントに卒業生が並び、署名簿にサイン。プログラムやキャンパスマップなどを受け取り、思い思いの懐しの〝地〟へ出かけていった。

関大会館前をスタートした〝復活〟パレードの一行

植垣校友会長はじめ校友会の役員や事務局職員、応援の現役学生らが総出で接待。十一時が近づくころには受付付近は人の山が出来、応対にてんてこ舞い。総会や懇親会を午前十一時に予定している団体が多く、正門前や図書館前で待ち合わせる人たちの輪が出来た。

平成三年十一月から四年十月の間に亡くなられた遺族の方々をご招待、昨年七月急逝された稲野治兵衛前理事長はじめ二十三家族六十七人が訪れ、記念品を受けとったあと夫や父、そして子息が学んだキャンパスにそれぞれの思いをはせながら散策していた。また、この日、未来の校友になる留学生たちも招いて記念品をプレゼント、〝関大校友の心〟にふれてもらった。

今年は上田新理事長就任後初の催しということもあって応援団のリーダー、吹奏楽、バトントワーリング各部と、植垣校友会長、上田理事長、大西学長らによるパレードが復活。午後零時四十分、関大会館前をスタート、社会学部学舎を左手に見ながら正門から図書館横を通って第一グラウンドへ。

## 校友の顔ほころぶ

### 昔日の思いにも触れる

第一グラウンドスタンドで家族と一緒に学歌を歌う校友たち

スタンドには午後一時から始まる歓迎セレモニーを控えて校友たちがつめかけた。植垣会長が「春のひととき、有意義に過ごして下さい」と、歓迎の挨拶。素晴らしい自然の秀麗を残してくれた先人たちの努力に感謝したいとの上田理事長の言葉に続いて、大西学長は「スタンドに懐かしい顔がみえ、昔を思い出す」と、にこやかに話した。留学生も紹介され、引き続きグラウンドいっぱいに繰り広げられた応援団の見事な「鯉の滝のぼり」「バトン演技」「ドリル演奏」などに約千五百人の校友や家族から大きな拍手がおくられた。

総合図書館で催された「大坂画壇」展も入れかわり立ちかわりのにぎわいぶり。また同館に特設された「総合情報学部」と一般進学相談コーナーにも父母や高校の先生ら約三十人が次々と訪れ、真剣な相談が続いていた。考古学等資料室にも約二百人の熱心な見学者が、日本・中国・韓国などの金石文拓本の特別展示などを熱心に見て回った。

大学院前芝生で初めて試みられた「俳句コーナー」では、茶道部現役学生による御手前で一服しながら、句をひねる姿もあちこちでみられ、来年もぜひの声も。

午後二時過ぎから雨がパラつき出したが、帰途につく校友たちの表情は、ひさびさの母校訪問で晴れやかだった。

## 会と催し

▽吹田支部第3回親睦ゴルフ大会 4月27日（火）午前8時24分 愛宕原ゴルフ倶楽部
▽体育会自動車部OB会総会 5月1日（土）午後3時 大阪ロイヤルホテル西館2階「梅の間」
▽第12回正副会長部長会 5月7日（金）午後6時 パレスS1会議室
▽第9回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月11日（火）午前8時 愛宕原ゴルフ倶楽部
▽第12回常議員会 5月12日（水）午後6時 パレス10号会議室
▽喜楽会総会 5月14日（金）午後1時 大阪駅中央出口噴水前集合 網干一泊
▽愛知東支部総会 5月16日（日）午前11時、豊橋グランドホテル
▽都島支部総会 5月23日（日）午前11時 大阪キャッスルホテル錦城閣
▽豊中支部総会 6月4日（金）午前6時 ホテルアイボリー
▽京都支部総会 6月5日（土）午後4時 京都タワーホテル9階宴会場
▽第60回定例代議員会 6月12日（土）午後1時半 関西大学一〇〇周年記念会館

内外国
特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鈴木・鮫島国際特許事務所
会長・弁理士 鈴木武夫
所長・弁理士 鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号 大花興産ビル2F・3F
（四ツ橋交差点西角 地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央西出口隣）
電話 大阪 〇六（五三二）七四三一（代）
国際テレックス 〇五二－五九〇五 TSIPOL
ファックス 〇六（五三二）七四三五

75年の歴史に支えられた
ハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama
KATANO
1918
株式会社カタノ
〒541 大阪市中央区北浜2丁目1番21号
北浜カタノビル1F
☎(06)231－0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

MARU NAKA
SAFETY & FIRE ENGINEERING
営業品目
●防災設備設計・施工・保守点検
●消火器・消防用品・安全保護具
●損害保険HPR-J
（高度防災特約付火災保険）
●厨房・ダクト消火・トマホークジェット
代表取締役社長
田合邦臣（昭37学1商）
天の理
宇宙の生成発展の力の源泉である天の理に則りながら、人々の生活や事業の平和と安全のために、より大きく役立ちたいと願っています。
心と夢
「心と夢を大切に　安全社会の未来を見つめよう」をコンセプトに、心に花を、心に音楽をいだき、オープンマインド、テンダーマインドを歩んで行きます。
花と音楽
感謝
おかげさまで45周年
SHU NEN
Safety & Fire Engineering
株式会社マルナカ
□本　社 〒530 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 TEL.(06)371-7775(代表) FAX.(06)372-1859
□東京本社 〒113 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 TEL.(03)3944-0161(代表) FAX.(03)3944-0170
□札幌営業所 〒060 札幌市中央区北4条西12丁目1番28号 日宝北4条ビル TEL.(011)281-5161(代表) FAX.(011)281-5140
□㈱神戸マルナカ TEL.(078)681-5771
□㈱名古屋マルナカ TEL.(052)222-0683

# 久し振りの母校を楽しむ校友たち

## '93スプリングフェスティバル

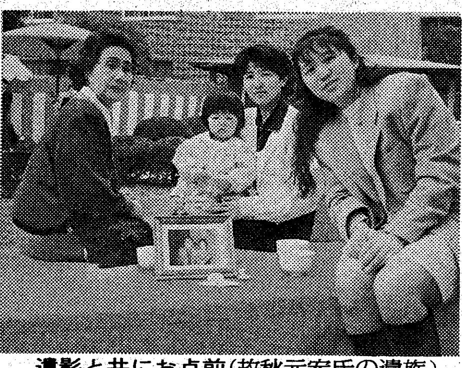
広いキャンパスを思い出を求めて散策する校友たちの中に夫をなくした妻、子供を失った母ら、遺族たちの姿も。一方、慣れない手つきでお茶を飲む留学生、俳句をひねる老校友、はるばるブラジルからやって来た校友夫妻―フェスティバルならではの光景がみられた。

### スナップ

**遺族も多数参加**

○…校友の遺族関係者も数多く参加された。野点会場には前理事長稲野治兵衛氏夫人節子氏が、関係者に案内され野点を受ける姿が見られた。

故・秋元宏氏（28学一商）の御遺族は、恒子夫人、裕美子、美栄子姉妹と一歳の孫美桜ちゃん。遺影の前にお点前を捧げて故人を偲んでいた。裕美子さんの一句「桜咲く亡父の母校の点前受く」。


遺影と共にお点前(故秋元宏氏の遺族)

スタンドの遺族関係者席には母娘二人連れの姿があった。谷賢一氏（平1学一史）の母堂と妹さんである。谷氏は昨夏突然、急性腎不全で倒れ、懸命の闘病、御家族の看護も空しく八月に多くの春秋を残して夭逝した。心の悼みまだ癒えやらぬ御家族の心情を思い御冥福をお祈りした。

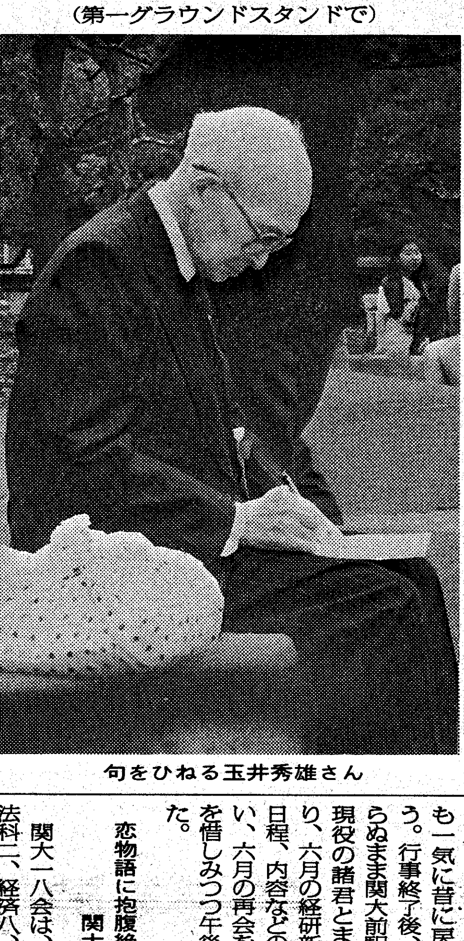
故谷賢一氏の母と妹さん
（第一グラウンドスタンドで）

**ブラジルからも**

○…ブラジル在住36年の前田（旧姓小濃）芳子さん＝30学一英＝が、ご主人の秀夫さん（28学一経）とともに、母校を訪れた。芳子さんは「母校の素晴らしい発展を目のあたりにして感激してしまった。サンパウロはインフレがものすごく、三カ月で倍になる」と、話しながら発刊した校友名簿をさっそく購入していた。

**句作に心頭滅却**

○…俳句のコーナーで、ようやく詠んだ一句をさし出しながら玉井秀雄さん（14二商）は「このフェスティバルと校友総会は毎年参加している。今日も岩崎先生の銅像に手を合わせて挨拶してきた」と、元気に話していた。


句をひねる玉井秀雄さん

**留学生も野点へ**

○…野点会場で談笑する三人の留学生。フレドリック・モンテーヌ君はベルギー人、向こうの大学を出て日本語を学ぶため昨年九月本学へ。一年間留学したあと貿易か観光の世界へと夢を広げる。

紅一点の邵珮さんは上海から来日、三年後の昨年四月から文学部で〃教育〃を勉強中。日本語の先生になるのが希望。もう一人のペリー・バネット君はニューヨーク出身。日本語を学び、国際問題の研究をしたいという。

日本の大学生活は、時間にゆとりがあるので「社会との関係が深くなる」と、学生生活が比較的厳しい外国人らしい、うがった感想を披露。卒業後は校友会組織に入って校友として活躍をと、校友会役員に肩をたたかれてにっこり。セレモニーにも参加。大西学長と照れながら握手するシーンも。

和菓子を手にモンテーヌ、邵、バネットの三君（左から）

---

# 参加各種団体からのミニ報告

卒業生の間で「スプリングフェスティバルに参加しよう」の合言葉が、年々浸透してきた。中でも総会や懇親会をこの日に合わせて開催する団体がふえた。今回も支部の家族懇親会、体育会・文化会OBの総会、さらにゼミの先生を囲んでのOB懇親会など、過去最高の三十九団体が桜のキャンパスに集合。「来てよかった」を連発しながら、回顧談に熱中した。

**二部の移転地を見学**
**応援団OB長柄会懇親会**

関西大学応援団OB長柄会（朝倉満会長）は、天六学舎を主たる学び舎とし、二部学生で結成された応援団出身者三二三人（三月末現在）で構成する校友会傘下の団体で、賛助出演の現役応援団員を含めて五四人が参加した。天六長柄、吹田千里山で学ぶ学生たちが、それぞれ擁する紫紺の応援団大団旗を、千里山グランドに押立てての応援団乱舞を見物後、学生の自治組織である二部学友会執行委員長らの案内で、天六学舎の閉鎖と二部学舎の千里山移転にともなう、受け入れ専用施設の学舎、体育館、クラブ部室等の建築現場を見学した。

しかし平成元年以降の二部入学者競争率が、常に十倍を越えているにもかかわらず、入学者は募集人員を大きく下回り続けていること、移転後の天六校地の利用計画が学生、OB双方に今もって発表されないこと、教学と法人への二つの疑問を抱きながら、春爛漫、桜の千里山を後にした。（青山　記）

**田中会長を再選**
**射撃部OB会総会**

約三十人のOB・家族が集まり午前十一時、田中OB会長のあいさつで開会した。会則の変更、創部七十周年の準備、役員の改選、コーチ陣の強化、会計報告、予算案等々七議案について慎重に討議され、いずれも執行部原案通り可決承認された。役員改選では、会長に田中和夫氏を再選、幹事長は船田征義副会長が兼務、また名誉会長に八十原武之助氏が選ばれた。

総会終了後懇親会に移り、和やかに現役時代の思い出に花を咲かし、来春の千里山キャンパスでの再会を約束し解散した。（田中　記）

**懐かしいゴザ敷いて**
**工学部金曜会家族懇親会**

スプリングフェスティバルにはこれが企画された当初から有志だけで集ることにしていた。本年は案内を機関紙に載せていただいたこともありメンバーの家族も含め二十五人もが参加。集合場所は立派な部屋を準備していただいたが、集合後は今までの慣習もあり工学部建物近くの桜の木の下に席を変えゴザを敷き懇親会を開いた。ゴザは研究室に泊り込んで実験をする時に使うゴザである。我々にとっては懐かしい限り。いきおい、学生時代が思い出され話は尽きなかった。一時にはグラウンドに席を変え、さらに野点、考古学等資料室、図書館を家族達にも見せ有意義な一日を終えた。（赤松　記）

**真剣な目に先輩も感動**
**なぎなた部OG現役懇親会**

今年も、満開の桜に見とれながらの母校訪問となった。上山先生をはじめ姫路や奈良方面からもOGがかけつけ、現役学生と合わせ三十人の盛大な交歓会となった。

体育館に集合。午前十一時過ぎ、現役学生による「リズム・なぎなた」の披露。映画トップ・ガンのテーマミュージックに合わせて、袴姿の若い肉体が躍動する。日本古来の武道である〃なぎなた〃と、最新のミュージックとの見事な融合をそこに見た。

練習が終わり、学生達にOGから講評をしているさい、彼らのまっすぐこちらに向けられている真剣な眼差しを見るにつけ、我々OGもがんばらねばと、思わず気合いが入ってしまった。（岡田　記）

**参加25人で盛会**
**長砂ゼミOB会長友会**

平成五年度長砂ゼミOB会長友会を母校でやる事が決まったのが二月末。すべて長砂先生におまかせで始まり、事務局が行うのは、通信連絡のみ。非常に楽な総会準備になった（先生お疲れさま）。北陸、岡山からの参加もあり二十五人の盛会だった。

各自現況報告し、先生の経済の講話を拝聴、全員学生時代にタイムスリップ、楽しい時間を過した。来年も母校での開催を決め閉会した。

大学関係の方、校友会の方々に非常にお世話になり、会員全員が感謝していました。（水野　記）

**3回目も大成功**
**一高同窓会もちつき大会**

関大一高同窓会のフェスティバル協賛「もちつき大会」も第三回を数え、正門横の特設テントで開催。会員と来場家族のふれあいをテーマに、濃紺の幟のもと濃紺のハッピ姿の有志会員の杵つきとつきたての餅を試食。大学の現役留学生の参加もあり、記念の手拭の無料配付、子供らにゴム風船のサービスなど約六百人のファミリーに大好評。

会場には長尾校長、長谷川元校長らも見えられ、また校友会や各団体の方々も立ち寄って頂いた。同窓第一期生から本年卒業の新同窓生までの会員の皆様のご協力もあり、成功裏に無事終了。来年の開催を約して手拍子で散会した。（白井　記）

**爛漫千里〃老春を楽しむ**
**五十経会観桜クラス会**

「爛漫千里の桜」の正門の坂道は昔、地獄坂。変じて今朝は咲き誇る桜のトンネル、極楽路。五十八年前の五十周年大学祭の生ける証人の五十経会員の観桜クラス会の往年の猛者は「ウエルカムバックアラムナイ」の四月四日千里山キャンパスに精一杯の力をふりしぼって集ったのは松井清、中山一義、亀有正男、山口儀由、平澤農一の五君。昨年昇天した学友の遺族は特別招待され、稲野治兵衛君の未亡人節子さん、逵嘉夫君の未亡人千代子さんは令息、令女たちにいたわられながら参加した。「世界の大学関大」（故稲野前理事長のプロパガンダ）を関大キャンパスの偉容の巨塔に連想しながら六十年前の青春残照が相応しい桜花爛漫の坂道を歩を進める奥さん方は我が夫の青春を我が子に語りかけている風情はメモランダリーだった。平澤会長は関大第一号中国留学生故李鴻年の遺族代理として参加。

往年の大投手、オリンピックの勇者を育ぐくんだ第一グランドを見守り続ける「クラブハウス」（現診療所）の見える簡文館真下のスタンドから若さ溢れる男女応援団乱舞を眺望。余命を数える我々OBの一人一人が若さの吸入か五体のふるえが止まらなかった。多分八十歳を迎える老春の感動の一瞬だったかも知れない。一同は懐旧の母校を三々五々午後三時散会。（平澤　記）

**生協料理に舌つづみ**
**西原ゼミOB会懇親会**

「明日（四月五日）の朝刊を見てくれよ。〃転勤だから〃と今回初参加の津村岡山地検検事正ほか十人、西原寛一教授の下で商法を勉強した面々が集合した。故人となられた西原先生及び同窓生三人に黙祷し各自の近況報告から始った。法曹界、実業界、官界等々第一線で働く者の元気な声で、教室が狭く感じられ、金丸事件―バブル崩壊―現代学生気質等の話題にまで話ははずんだ。学校行事のあと、食堂で関大生協特別料理で舌鼓をうち、母校の発展と全員の健康を祈願して乾杯し、平成七年に再会を約して終了した。（見方　記）

**現役参加で盛り上がる**
**二部山岳会OB会**

毎年二部山岳部OB会（星友会）は家族連れで、このスプリングフェスティバルに参加しているが、今年も十八人もの会員家族が集まり、桜の花のもと、合宿のかずかずを語り合いながら、懐かしくも楽しい一日を過ごすことができた。なかでも、数年振りに現役部員が参加してくれたことは我が山岳部の復活を夢みてきたOB諸氏にとっても頼もしい限りで、OB・現役・家族との歓談は尽きなかった。（水青　記）

**39年前に一気に戻る**
**経済研究部OB会**

OB会懇親会は、現役・OB合せて二十六人が参加。午前中は経研ボックスでOB会幹事会を開き、のち二号館A26教室で記念撮影、昼食をとりながら古き良き時代を回顧しながら現役の諸君とにぎやかなひとときを過した。

午後一時、全員第一グラウンドの行事に参加、なつかしい学生歌、応援歌、全員肩を組み逍遥歌の斉唱ともなると卒業後三十九年を経た現在でも一気に昔に戻されてしまう。行事終了後、感激さめやらぬまま関大前駅近くの店で現役の諸君とまた乾杯となり、六月の経研新人交歓会の日程、内容などの打合せを行い、六月の再会を約し名残りを惜しみつつ午後六時散会した。（本多　記）

**恋物語に抱腹絶倒も**
**関大一八会総会**

関大一八会は、昨年に続き法科二、経済八、商科八人、それに家族らも加わり総勢二十七人が参加。和気あいあいの中、総会・懇親会を開き、久しぶりに出席の学友の自己紹介に始まり、現役時代の話や恋物語に抱腹絶倒、五十年前の昔に帰った楽しい一日だった。（中井　記）

**親子ほど違う卒業生も**
**商学部亀井ゼミOB会**

商学部亀井ゼミOB会（白樺会）が例年どおり約四十人の出席の下に桜花咲き乱れる千里山キャンパスで開催された。第一回のゼミ卒業生と今年の卒業生との間には三十三歳の年齢差があり、親子ほど違う。第一回や第二回の卒業生から、「うちの娘を嫁にどうや」などの話がはずみ、大笑い。先生と卒業生とが親子ほど違うのは当たり前だが、卒業生同志がそうなっているとは考えもしなかった。

また、「君のオヤジとワシとは遊び友達でな。よー、マージャンやスキーをやったもんや。オヤジによろしゅういうといてくれ」という場面もあった。大学通りの「千都」でお好み焼とビールで会話がはずみ大盛会だった。（亀井　記）

**秋に総会を開催**
**JR関大会懇親会**

当会は国鉄が分割・民営化されたこともあり、ここ数年総会を開催することなく、母校校友会の代議員会等に出席する程度で、活動がとだえていた。この日、法文学舎一号館A三〇一教室をお借りして総会を開いた。久方振りの再会に旧交を温める者、JRになってから就職した若い会員との新たな出会いに喜びを感じる者等、同窓であるが故の親近感に浸り、楽しく有意義な一時を過した。

OB会員二〇人、現役会員二六人の計四六人が参加。秋に盛大な総会開催を決めた。

名簿作成のため次の幹事にご連絡下さい。

OB会員＝二谷博明〇六・四五三・五六七一

現役会員＝大東嘉克JR〇七一・五三六八（西山　記）

**アチャコ氏子息と歓談**
**喜楽会懇親会**

昨年より年一回の総会の外に午食会を実施して来たが今年も母校S・Fの日にあわせて開いた。参加会員の十二人と二年後輩で花菱アチャコ氏の御子息で現役時代より知人も多い藤木吾朗生氏を迎えて藤木氏から父君のエピソードや卒業後より近況までを承り、父君の演技の入ったテープを頂戴した。

議題に入って本年度総会の幹事改選、会計報告の話を中心に弁当をつつきながら楽しい数時間を過した。セレモニー会場に集い、明治、大正、昭和生れの大学三役のお話を承って学生時代へタイムトンネルを逆戻りする、なつかしさを噛みしめる事が出来た。応援団の演技、紫紺の征旗、千成瓢箪、チアガールの熱演など昔と現在の関大生の時代の流れを見ることが出来た。その後満開の桜花を賞でつつ茶道部のお点前を楽しくいただいて自由解散した。（橋本　記）

**9人と同伴2人が参加**
**五七会懇親会**

同期の友九名と同伴二名が参加した（金谷、北川、中辻、西山、畑下、和田垣、山口、山田、勇内）。割り当てられたA21号教室で、上山弘君の奥様、二月七日ご逝去を告げ、哀悼の意を表した後、彼の随筆集「マイブルーヘブン」が翌八日に出版献本されたので、うち二編（在米禅僧のレポート、新地ごよみ）を紹介、硬軟両方から彼の文才と人となりを味った。畑下、中辻から大学の現況を入学志願者と手続者、五年度予算と主な事業計画、施設の現状などにわたって報告。続いて参加者から楽しい話題が提供され二時間があっという間に過ぎ、午後一時のグランドでの行事に急ぎ参加して一日を楽しんだ。（畑下　記）

◇

**お断り**　開催団体の原稿の中で紙面の都合上、一部は五月号掲載になります。ご了承お願いします。

---

# 俳句コーナー初登場

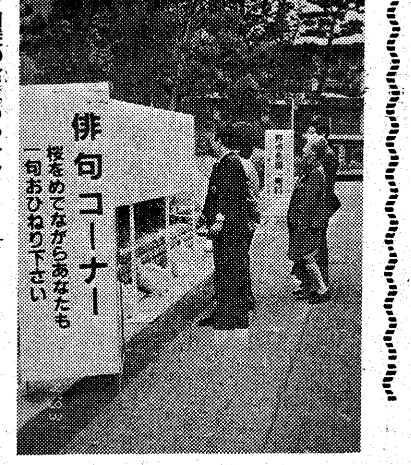
## 一服しながらの趣向

### 野点会場

野点会場で一服しながら一句ひねってもらおうと、今年初めて俳句コーナーが登場。校友会広報部の丸岡武さん（現代俳句協会会員）らがお世話をした。予想以上に好評で老校友はじめ、女性たちも次々と〃挑戦〃。短冊に書かれた秀句？が、会場わきの掲示板に張り出され、通りがかりに足をとめて眺める校友たちもいた。

投句の中から一部を紹介すると―。（順不同）

関大生桜花らんまん意気高し　上田繁潔
青空に鼓声轟く花片落つ　高畑敬一
乾杯の声に舞い入る桜花　網干善教
花に酔い友の心の暖かさ　畑下辰典
爛漫の桜を愛でんと友集う　植垣幸雄
団旗立つ千里の山は花吹雪　徳山喜昭
遠き日の望みなつかしやまの春　和田栄重
田にれんげ草時に涙を流す　一軸浩幸
花ふさのひともとづつに友ありて　西村寿美子
後輩のお服に酔える花ぐもり　片山久江
わが母校桜をあびて若がえる　髙橋一夫
キャンパスの野点にぎわう花ぐもり　乾　昌明
喜寿翁と母校を語る野点かな　泉田康視
花影に古るき学舎の静間かな　金谷　実
春の日に丈夫達の集い寄る　久志本孝美
苦労した頃憶い出す花の道　田邊善之
春がすみ夫につれられ初参加　東　都音夫
桜咲く亡父の母校の点前受く　秋元裕美子
校友の声にこたえて花の舞　新美健治
花ぐもり恩師の像の微笑めり　寒川房枝
命ありて今年も来るスプリング　玉井秀雄
落花来る六法全書置く窓に　丸岡　忍
白髪の君にもあひしさくら下　楠瀬八重
春麗の山は紅千里かな　津山佳昭
懐しき顔々のあり花の下　山路義雄
スプリングフェスティバル名前横文字花見かな　紀井昭三
関大の誉れの丘や花満ちて　岸野可折
同窓の集う千里や春の宴　岸野　薫
連れられて夫の母校の花に酔い　堀江久子
広々と桜で美しき関大の庭　伏見清昭
学生の御点前を受く花の苑　青木　士
我が恩師桜花咲いても政治学　藤田耕嗣
胸ゆらし桜の下に集いけり　岩　健次郎
なき夫のおもかげさがす春がすみ　細川和美
フェスティバル丘の櫻やあざやかに　椎尾晋太郎
春がすみ野立の席に桜かな　清水孝晏
年々に歳重ねきて古稀越えし今日を母校の庭にし集う　長谷川雅樹



俳句コーナーの投句を眺める校友

---

# 人事

（新・旧・氏名・卒年学部の順）

法務省関係（4月5日付）新潟地検検事正（岡山地検検事正）津村節蔵＝32学一法▽神戸地検尼崎支部長（大阪高検検事）松岡幾男＝39学一法

＝以上判明分のみ

（4月1日付）

▽大阪府庁

【部長級】議会事務局長（大阪女子大学事務局長）沖田正幸＝34経▽総務部税務長（商工部信用組合管理監）福家一行＝35法▽企画調整部空港対策室長（土木部次長）大飯田諫五＝40法▽環境保健部病院管理監（理事）池中昇三＝37法▽泉北府民センター所長（企業局次長）永井昇平＝38法▽泉南府民センター所長（環境保健部次長）白水康雄＝平3哲▽北河内府民センター所長（水道部次長）中山重光＝40経▽府立中宮病院事務局長（労働部次長）吉田博＝35法▽大阪女子大学事務局長（農林水産部次長）森繁＝38法

【次長級】総務部次長（総務部参事兼同人事課長）小坂裕次郎＝43法▽労働部次長（福祉部参事）村上孝二＝38法▽建築部次長（知事公室次長）漆原八十一＝39法▽水道部次長（中央労働事務所長）川瀬誠＝40法▽議会事務局次長（議会事務局次長兼同総務課長）髙橋桂＝38法▽地方労働委員会事務局次長兼同調整課長（生活文化部参事）谷野弘次＝37法▽総務部庁舎周辺整備室長（労働部労働福祉課長）椀田忠典＝40法▽企画調整部同和対策室次長（企業局地域整備部りんくうタウン振興課長）濱本啓義＝41法▽企画調整部副理事兼東京事務所次長（福祉部福祉政策課長）横山敏郎＝44法▽生活文化部副理事・財団法人大阪21世紀協会関西国際空港記念事業推進室長（生活文化部府民生活課長）尾崎勉＝41法▽福祉部副理事・社会福祉法人大阪府総合福祉協会理事兼館長（教育委員会事務局社会教育課長）小西義行＝40国▽北河内府税事務所長（企業局参事）菱井進＝40法▽府立消防学校長（東大阪府税事務所長）森永剛平＝35法▽泉州福祉事務所長（現職昇任）井上康彦＝39法▽府立堺高等職業技術専門校長（科学教育センター副所長兼同総務部長）西田元浄＝38法▽教育センター次長（企業局参事）岸勝＝36商

▽大阪市役所

【局長級】環境事業局長（教育委員会事務局社会教育部長）島田勲＝36法▽市会事務局長（市会事務局次長）笹倉和忠＝38法▽財務局理事（建設局用地部長）時田清＝37経

【部長級】市長室副理事（大阪国際交流センター出向）酒井靖之＝37法▽中央卸売市場副理事（東成区長）西田時夫＝36経▽環境保健局環境部長（環境事業局廃棄物処理緊急対策室長）高島英夫＝37経▽建設局用地部長（淀川区長）礒西紀元＝45院修私▽建設局花と緑の推進本部副理事（大阪臨海工業用水道企業団出向）筒井孝一＝38法▽天王寺動植物公園事務所副所長（天王寺区役所総務課長）岩倉善樹＝36法▽西淀川区長（東京 [illegible]

洗練された味と気軽な雰囲気
アミチェとビストロ・アミスター
気持のあるフランス料理のお店
アミチェ心斎橋店
海の幸フランス料理で校友の皆様にご好評いただいております。
下村八郎（39文卒）
ランチ 2,000～5,000 AM11:00～PM2:30
ディナー 6,500～13,000 PM5:00～PM10:00
大阪市中央区心斎橋筋1-5-31 ラ・シーンビル6F
心斎橋・大丸本館と別館の間東へ20m右側
06-251-3076 無休
フランス田舎料理
ビストロ・アミスター 淀屋橋店
ランチ 1,200. 1,500. 2,400
ディナー 2,800. 3,500. 5,000
京阪淀屋橋改札前 NEXT-T-1・2階
06-227-4160

おそばのおいしいお店、
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば 家族亭
関西店 [illegible]
東京店 [illegible]

ダイヤモンドのことなら……
76年の信頼
心斎橋の輝く宝石"ツルヤ"で
お選び下さい
心斎橋
ツルヤ
(06)211-1024

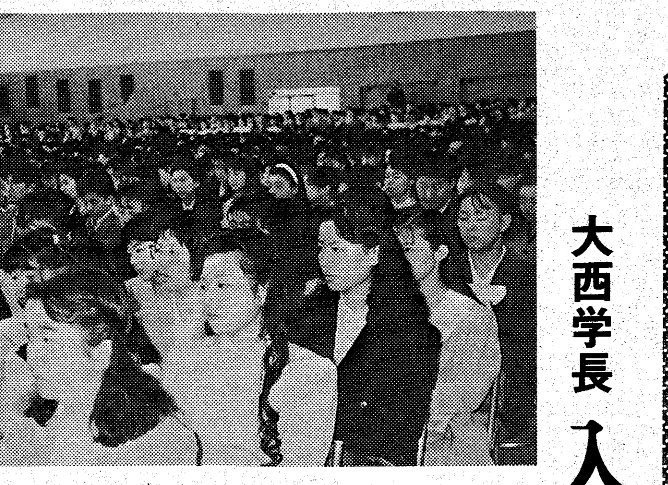
Mark, the MARK II
名前以外は、すべて新しい。新マークII誕生。
マークII 2.0 グランデ〔E-GX90-ATMQK〕
セルシオ・ソアラ・マークII・エクシヴ・コロナ・コルサ・サイノス・ハイラックスサーフ
神戸トヨペット
TOYOTA
本社●神戸市兵庫区水木通2丁目1-1 ☎078-576-5001(代)

●てっちり ●ハリハリ鍋 ●くえ料理
徳家
大阪市中央区千日前1丁目7-11 上方ビル2F
TEL.(06)211-4448

# 新入生6296人

## 漫然と生きず目標を！

## 大西学長 入学式で強調



女性が目立つ学部入学式（体育館本館で）

平成五年度の学部入学式が四月三日、一部は午前十時から文、経済、社会の三学部、午後一時から法、商、工の三学部が千里山学舎体育館本館で、二部は午後六時から法、文、経済、商、社会の五学部が天六学舎でそれぞれ行われた。

会場を埋めた緊張気味の新入生と父母を前にして、大西学長は「漫然と生きず、目標を定め、意義ある人生を選びとってほしい」と、式辞を述べた。

今年度の新入生は、一部が五、八四八人（法七八〇、文九一八、経済七八九、商九九五、社会九二七、工一、四三九）、二部は四四八人（法一一七、文八一、経済一一四、商八六、社会五〇）の計六、二九六人（うち女子一、六一二人）だった。

留学生は四十人。中国が断然多くて二十人、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、アメリカのほか、今年は初めてスペインから女子留学生が経済学部に入学した。

### 大学院入学式

### 前期課程の志望者増加

大学院入学式は四月六日午前十時から千里山学舎の一〇〇周年記念会館で行われた。博士課程前期課程には四〇一人（うち女子四三人）、博士課程後期課程三九人（同一四人）が入学した。

前期課程の入学者は昨年度より九十一人も多く、大学院進学を志す学生がふえる傾向をみせている。

### 学部卒業式

### 思い出一杯の学び舎巣立つ

平成四年度の学部卒業式が三月十九日行われ、五、八九一人（うち女子一、三九六人）が卒業証書を手に、恩師や後輩たちに見送られながら四年間の思い出がいっぱいの学び舎を後にした。

一部の法、商、工の三学部は午前十時から千里山キャンパスの体育館本館であり、大西昭男学長は「かならずしも自分の希望する道へ進めなかったかもしれないが、厳しい年に社会へ出ていくことは、安易に社会人になるよりも、後で良かったと思う時が来るはず。学びのデータベースとして、知識の宝庫として、諸君の叡智のしるべとして関西大学はいつまでも諸君を支援しつづける」と、式場を埋めた卒業生を励ました。

午後一時からは文、経済、社会の三学部、また二部は、午後六時から天六学舎で、法、文、経済、商、社会の五学部合同で行われた。

各クラブの後輩たちから花束を贈られたり、紙吹雪攻めにあいながら、卒業生たちは寄せ書きや記念撮影にと、にぎやかに走り回っていた。

### 新修士は282人　博士課程23人

### 証書授与され門出

大学院の修士記、博士課程後期課程単位修得証書授与式は、春本番近い陽気に包まれた三月二十三日、本学一〇〇周年記念館で行われた。この日誕生した新修士は二百八十二人、博士課程後期課程単位修得者は二十三人。華美な服装もなく簡素な中にも気品ただよう知識人の力強い門出となった。大西学長からは愛情あふれるはなむけの言葉をいただいた。

引き続き謝恩祝賀会が開かれ、厳粛な式典とは打って変わって和やかな空気の中、上田理事長、石川教学部長、徳山校友会副会長、津川博修士会会長から、それぞれ心温まるお祝いと激励の言葉が贈られた。東事業部長の名司会で進められ、織田大学院部長の音頭で乾杯。

盛り上がったところで三月末定年退職される先生、大学院各研究科の諸先生より心の琴線にふれる祝辞をいただき、各研究科の修了生代表が、感謝の気持ちをこめてお礼の言葉を述べた。最後は逍遥歌を歌い上げ、社会人、研究者としての活躍と健闘を誓い散会した。（畑中　記）

### 関関戦野球

### 24日と25日

関西学生野球春季リーグ戦は四月三日開幕、関西大学は四月十日から始まった対近大戦を二勝一敗とし、幸先よいスタートを切った。この後の関大の日程は、次の通り。四月十七、十八日対立命（西京極）、二十四、二十五日対関学（西宮）、五月十一、十二日対同大（同）、十七、十八日対京大（西京極）。

---

## 多彩な30人 なごやかに

### 平野区支部総会

関西大学校友会平野区支部総会

世代を超えてなごやかに平野区支部会員

桜の花も開いた四月三日午後三時半から平野区支部総会が阿倍野区内ホテルエコーオーサカで開かれた。執行部五人体制、毎月会合を開いて準備し、開催にこぎつけた。

昭和二十四年卒から平成四年卒まで、夫婦一組、女性三人、バラエティーに富む三十人が出席した。

現役応援団のリーダーによる学歌斉唱でスタート。菅生副支部長の開会の辞、野村支部長の挨拶、日野上事務局長の会務報告と移り、新任の辻見校友会事務局長の挨拶をいただき第一部総会を終了。

第二部は椿本副支部長の講師紹介で、杭全神社宮司、藤江正謹氏の講演「平野の祭りと杭全神社」を聴く。千年以上の平野の歴史、杭全神社の連歌所と連歌会復興の話などに耳を傾けた。

第三部。藤本事務局次長の発声で乾杯。景品付きくじ引きに始まり、カラオケの熱演で懇親も盛り上がり、時間のたつのも忘れた。結婚式の司会二十五回という小谷幹事長のすばらしい司会で、スムーズに楽しく会は推移。宮武、大江両氏のリードで全員輪になって逍遥歌を歌い、日野上事務局長からお礼と協力のお願いがあり、さらなる発展を誓って散会した。（日野上　記）

## 川崎会長を再選

### 神戸三九会総会

神戸三九会（39法・川崎保会長）は三月九日午後六時半、ハーフエンブルク（神戸ハーバーランド店）で初参加の中谷晃也君ら二十四人が出席して第十回総会を開いた。

学歌で始まり、会長の挨拶、事業報告、会計報告のあと、主議事である役員を改選、川崎会長の留任を決めた。その他の主な新役員は

副会長＝樽谷清太郎、石山康弘▽会計＝山下晧二▽監査＝松広次郎▽幹事長＝川本靖夫の各氏。

関西大学校友会神戸支部三九会

初参加者を含め24人が出席した神戸三九会のメンバーたち

会食に移り、弁護士生田法律事務所を開業した生田暉雄君の発声で乾杯。近況報告、今後の三九会のあり方などなごやかに歓談した。また、通院生活をしていた柴崎隆君の復職が決まり、一同安堵した。最後に岩田家正君（母校文学部教授）のリーダーで肩をくみ逍遥歌を合唱し次回九月三日の再会を楽しみに散会した。（藤原　記）

## 国宝見学兼ねて

### 京都で飛雲会総会

飛雲会は、国宝飛雲閣の特別見学会を兼ね、久振りに一泊して懇親の実をあげようと京都で第三九回総会を開いた。

39回総会に集まった飛雲会の会員

二月二十八日、京都観光「冬の旅」わびコースにより、仁和寺、西向寺等有名寺院の茶室、庭園を訪ね、妙心寺退蔵院余香苑では、表千家社中による呈茶を受け、一同慎重な顔付で茶を頂いた。約六時間のコースを終え西本願寺門徒会館で一泊。久々とあって話に花が咲き大いに盛上り、楽しい一夜を過した。

翌三月一日には国宝飛雲閣を特別拝観し、太閤ありし日の聚楽第の景観を偲びまた本堂内の国宝、重文の絵画、能舞台等くまなく見学し、次回第四〇回総会を神戸で開くことを約し散会した。出席者は上西榮萬、角田義雄、富田淑郎、中山晴光、西脇吉幸、山下徳次、浮穴国男の七人。（浮穴　記）

## 懐かしいなあ

### 28年卒有志の同期会

二十八年学一卒の有志同期会が、三月十九日午後六時から大阪キタの弥生会館で十九人中、十四人が出席して開いた。母校への感謝の心をこめて学歌を斉唱して乾杯。横浜から駆けつけたり、四十年ぶりに参加する者もいて、まず記念写真におさまった。

名刺の交換から始まったが、白髪やつるつる頭に変貌した友を一人々々見つめていると、ぽつぽつと昔の面影を思い出してきた。一時間くらいたってもまだ他人行儀だったが、自己紹介が進むにつれ、座はしだいにほぐれていった。

司会から「スピーチは二三分で」の注文がついたにもかかわらず、平均十分もしゃべる仕末。上場企業の役員、一億円以上もの所得税を払っている者、弁護士、中小企業の役員たちと、平均六十三歳の面々は元気いっぱい。

おなかがよじれるほど笑ったり、スピーチに横やりを入れたりと、歓談つきないうちに予定の時間がきてしまい、会場側から催促されるほど。万歳を三唱して閉会した。この時、声あり、「明日もう一度同窓会をしよう」。その気持分かると、全員うなずいていた。

このグループに関心のある方は前田秀雄君（078－331－0595）までご連絡下さい。

出席者は次の各氏。

一瀬泰男、中桐正己、高木忠雄、壇岡清治、木村陽二郎、武田晴次、亦木昭平、中野龍治、坂田魁、岸本和夫、執行徳次郎、古布順蔵、前田秀雄、斉城正之（斉城　記）

平均年齢63歳、40年ぶりの参加者もいた28年組

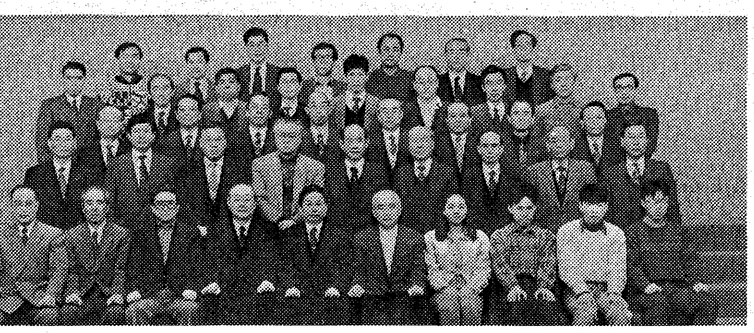
## 成功させよう記念大会

### 吟詩OB会総会で決議

吟詩部OB会（伊東誠一会長＝32法）は、三月六日午後六時から大阪弥生会館で平成四年度総会を開いた。OB四十一人、現役四人が出席。伊東会長の挨拶の後、斉藤幹事長から四年度事業の実施報告、会計報告があった。

引き続き五年度事業として十一月二十一日午後一時から関西大学一〇〇周年記念会館で開催する「吟詩部創部六十周年・戦後再発足四十周年記念大会」を成功させるため、OB諸兄の参画の積極的な呼びかけを決議した。

パーティーに移り、世代を離れた和やかな歓談のうちにOB・現役一緒になって、ビンゴゲームやカラオケを楽しみ、日頃の苦労も忘れた。部歌、学歌、逍遥歌を熱唱し、十一月母校での再会を約し散会した。（斉藤　記）



45人のOB・現役が集まった吟詩部OB会総会

## 女性会員が初めて参加

### 高槻支部新春懇親会

高槻支部は平成五年新春懇親会を二月二十日午後六時から高槻市内のフランス料理店「ベルジュール」で開いた。

今回初めて女性会員二人が出席、総勢三十人が集まった。二十代から八十代まで年齢層も幅広くにぎやかに語り合いながら親睦を深め、午後八時、お開きとなった。（工藤　記）

## 家事調停協の会長に徳矢氏

### 他に副会長と理事

大阪家事調停協会は、三月十二日総会を開き、平成五年度の新役員を選出、会長に校友の徳矢典子氏（35院修私法）、また副会長には辻本直正氏（25大法）、理事に中村平治氏（26学一法）、片山久江氏（44学一法）が選ばれた。

同協会は大阪家庭裁判所の家事調停委員五百人余で構成され、このうち校友は四十七人を占めている。

## 校友短信

**◆井上氏が公証人に**

名古屋高裁金沢支部長だった井上孝一氏（29学一法）が2月15日、法務大臣により公証人に任命された。すでに名古屋法務局所属熱田公証役場で業務を始めている。

**◆英米ハイク誌に坂本教授の句採録**

坂本悠貴雄文学部教授（31院修英）の英語ハイクが、このほど英国ハイク協会季刊誌「ブライス・スピリット」に五句、また米国ハイク協会半年刊誌「フロッグポンド」に二句、採録された。うち一句を紹介すると、

crawling up/toward the harvest moon/a spider（這い上がる／名月に向かい／一匹の蜘蛛）

また「英文毎日」'92年英語ハイク・コンテストにも三年連続入選した。

**◆西岡小十氏が大阪で作陶展**

小次郎窯・西岡小十（本名悟）氏＝15大経＝は、3月22日から6日間、大阪中央区の「セントラルギャラリー」で「喜寿記念　唐津　西岡小十作陶展」を開いた。

---

# クラブ活動いま・昔

## 顧問教授の目

(28)

### 千里山法律学会

**澤田　嘉貞**

## 各界に多くの人材

## 秋に60周年記念行事

昭和八年に創立され、本年秋に六〇周年記念行事を迎える千里山法律学会は、初代会長（顧問部長）故中谷敬寿（元学長）、二代故桜田誉両名誉教授から現在会長として、私（憲法・地方自治法）に受けつがれている。

学生の自治的法学研究会でありながら「学会」ということは、創立時、中谷、木村健助両先生を初めとして、その当時の教員と学生とによる法学研究団体として発足しているからである。関西大学法学部だけの学術誌がなかった当時に、千里山法律学会誌を大同書院から五号まで出版していたことから、日本評論社の法学年鑑で関大の学術団体として紹介された歴史をもっている。関大の「法学論集」は昭和二六年二月第一号からである。現在は、初代会長命名の「睦法」を発刊し続けている。

戦後いち早く活躍された桜田教授の没後、亀田健二（行政法）、高森八四郎（民法）の両教授を副会長に迎え再編成を計っている。

昭和二四年から当時は、京大を初め阪大、神大、関関同立大と計って関西学生法学連盟を結成して学問交流の為の各大学持回りの法律討論会、年一回の全日本学生法律討論会に発展し今日まで続いて最高裁長官杯を度々、関大に持ち帰っている。その喜びを同窓と分った想い出をもつ方々も多い。

昭和二五年には、今は独立しているが学の実化と社会奉仕の私学で始めての法律相談所を故武田蔵之助、故春原源太郎先生や、鳥巣、棚野、蔦、弓場等多くの先輩弁護士の協力を得て天六学舎に開設した。

また、昭和二六年に開始された兵庫県家島からの法生活実態調査は、夏休暇を利用して農山漁村に生きている法慣習、立法・政策資料を求めて、教授・学生が現地に泊り込みで十五回の調査を行い、法学会誌に発表しつづけたことを当時の参加者がいまも懐しく語り合っている。二七年島根県恵曇、二八年和歌山県雑賀崎、二九年和歌山県熊野、三〇年福岡県鐘ケ崎、三一年飛騨上宝村、三二年徳島祖谷、三三年奥能登、三四年宮崎椎葉村、三五年島根県平田市、三六年三重県志摩、三七年石川県能登島、三八年高知県本川村、三九年大分県鶴見町、四〇年長崎県対馬で終った総勢四五〇名による調査行であった。今は別団体の社会法学研究会も、千里山法律学会が産みの親である。

また、元大阪高裁裁判官、弁護士の竹沢喜代治先生が特に指導され、永く続けて大学の名物になった模擬裁判劇が学生会員によって催されていた。そのような会活動の中から法学実務家になられた方々も多く、いずれ、それらについての関係者の想い出ばなしもまとめたいと思っている。大学紛争時にも、先輩から受けつぐその火を消すことなく灯して来た。

とにかく法学の専門分野のグループ研究会を続けて今日に至り、国会議員を始め各界各層に、多くの人材を送りつづけて来た千里山法律学会である。卒業後のOB組織としての「睦法会」は、三代目会長澤田嘉貞（昭和二六年卒）、副会長村林隆一（昭和二八年卒）、乾昌明（昭和二九年卒）、鈴木清子（同）、高橋一夫（同）、会計保々登美子（旧姓小池、同）、幹事長家近正直（昭和三一年卒）である。

いま、大学も熱くもえている生涯学習、生涯研究組織として早くから結成し、現在、会員千名超を確認することができる。

その会員皆様には、いつでも千里山上に集い下さいと現学生ともども念じている昨今である。「千法会」のこのながい歴史と伝統を語るにはこの紙面だけではむずかしく、今回はこれまでといたしたい。（法学部教授）

---

## 関大人事

（4月1日付）

〔教育職員主な役職異動〕

国際交流センター所長＝河田悌一・文学部教授▽東西学術研究所長＝大庭脩・文学部教授▽工業技術研究所長＝松村嘉高・工学部教授▽法学研究所長＝村井正・法学部教授▽教職課程研究センター所長＝右島洋介・文学部教授▽教学部長代理＝伊藤誠宏・文学部教授、横田勝弘・工学部教授

〔教育職員新任〕

法学部　教授＝植木哲、小林弘二▽助教授＝今西康人、斎藤彰

文学部　教授＝高橋誠一▽助教授＝近藤昌夫

社会学部　教授＝王耀鐘▽助教授＝永井良和▽専任講師＝大和礼子

工学部　教授＝植村知正、大石敏雄▽専任講師＝楠田雅治▽助手＝橋寺知子、安原裕紀

商学部　助教授＝安部誠治、高橋望

〔教育職員昇任〕

法学部　教授＝市原靖久、大和正史▽助教授＝葛原力三

文学部　教授＝井上泰山、高橋隆博▽助教授＝芝田豊彦、山本卓、吉中孝志

商学部　教授＝羽鳥敬彦、明神信夫

社会学部　教授＝片桐新自

工学部　教授＝石原勲▽助教授＝阿波啓造、新井桊彦、田村進、中林安雄▽専任講師＝井上平八郎、伊藤淳志、泉井力、倉田純一、山北隆征、山本秀樹

〔事務職員異動〕

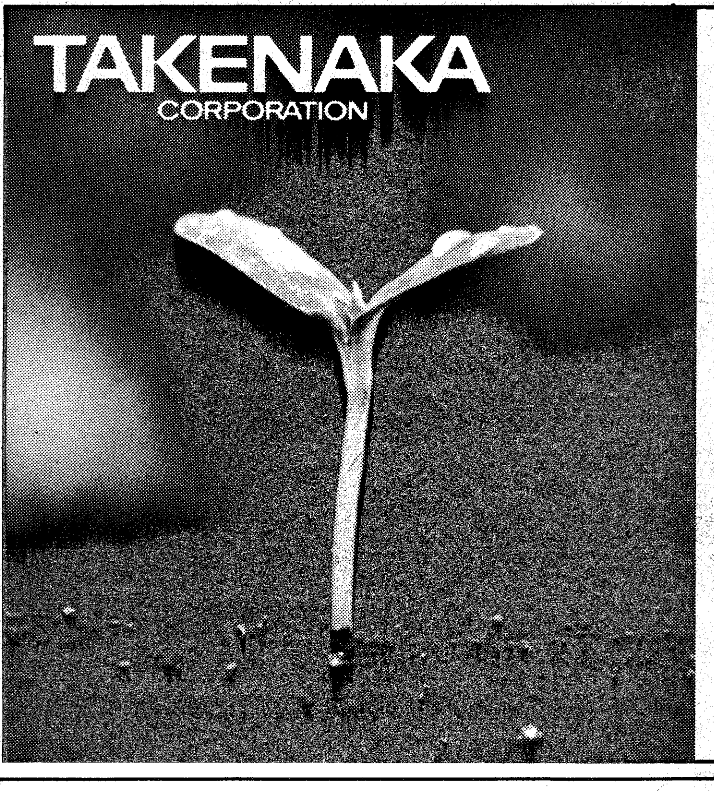
管財局長＝霜上健祐▽企画室付内部監査担当＝小笠公士▽企画室付東京渉外担当＝中山義一▽企画室付法規整備担当＝福田秀直▽関西大学校友会出向＝辻見重行▽募金室付渉外担当＝村山弘▽大学事務局次長兼大学事務局庶務課長事務取扱＝池内啓三▽就職部次長＝稲置啓一▽高槻キャンパス事務局次長＝岩村護▽企画室広報課長＝達摩省一▽管財局付建築担当課長＝阪口辰夫▽入学試験部入学試験課長＝田中秀夫▽総務局付研修担当課長＝井河俊一▽総務局総務課長＝中邦弘▽管財局施設課長＝三宅邦弥▽事業局事業課長＝印藤友二▽大学事務局付学長室担当課長＝宇貞登▽大学事務局学務課長＝原田禎之▽大学事務局体育課長＝川口浩▽経済学部事務長＝小西善樹▽商学部事務長＝黒岩美智男▽工学部事務長＝大嶌征次▽就職部就職課長＝谷村紘▽図書館閲覧参考課長＝松原克彦▽図書館逐次刊行物課長＝木下正信▽東西学術研究所事務長＝山口敏郎▽工業技術研究所事務長＝丸山良彦▽高槻キャンパス事務局課長＝石山博康

---

＊ウーロン茶の最高級品！中国直輸入
特に肥満体質の方に最適
●無農薬・カルシウム465mg/100gが多く、カフェインは微量（0.007）！冷やして飲んでも最高です。
減量 やせたい方に
アルカリ飲料 美容健康茶
ウエイトコントロール 味はさわやかマイルド
●ティーバッグ（20袋入）850円
●ティーバッグ（50袋入）2,000円
●特選お徳用箱（130g入）1,500円
●特選マイルド（300g入）3,000円
中國皇茶 楊貴妃 ヨーキヒ
●お求めは全国デパート・薬局・薬店・茶舗・スーパー・酒販店でどうぞ
お問い合わせ……サンプル差し上げます。
中国直輸入総発売元 株式会社タムラ　試供品請求券 K係
大阪市北区芝田2-6-18 商工中金ビル ☎(06)373-2101㈹

素朴な海辺の旅情
丹後 久美浜
懇親旅行、家族旅行、ゼミ旅行、クラブ合宿など、お気軽にご利用下さい。
一推薦 前法学部教授・現法学部顧問 堀 堅士先生一
生うに料理（1年中）
カニ料理（11月中旬～3月下旬）
カキ料理（11月中旬～3月下旬）
●その他ご予算に応じて料理いたします。
小天橋温泉（展望風呂完成）
山陰海岸国立公園 旅館 小天橋
平井善次郎（31年法学部卒）
■ご予約・お問い合わせは
☎(07728)3-0371(代)
京都府久美浜町湊宮（湊大橋手前）

非鉄金属販売
保井金属株式会社
取締役社長　保井剛一
本社　大阪市中央区松屋町六－三
電話〇六(762)五四二一(代)
FAX〇六(762)八一四六
東京保井ビル　東京都千代田区内神田一丁目八ノ二



TAKENAKA CORPORATION
地球に、学ぶ。
21世紀の私たちの環境を考えるとき、そのキーワードとなるのは“地球”です。建築の企画・設計分野でも、今、地球規模の広い視野が求められています。生態系（エコシステム）の研究をふまえた企画、そして自然の偉大な造形力から発想する設計……環境の再生と創造をめざして、竹中工務店は地球に学び、着々とその成果を上げています。
竹中工務店
〒541 大阪市中央区本町4丁目1-13 TEL.06(252)1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1 TEL.03(3542)7100

Graph Media
人間環境情報“グラフメディア”
印刷新時代をリードする
東洋紙業株式会社
大阪本社：大阪市浪速区芦原1丁目　☎(06)567-2111(大代表)〒556
東京本社：東京都品川区南品川6丁目　☎(03)3450-2111(大代表)〒140

# 校友名簿の変遷

『関西大学校友名簿』は四年ごとに新会員を加え、改訂される。それはオリンピックにも似て、四年にわたる調査活動の集大成であり、労作である。その平成四年版（B五判）は優に二千百㌻を超える大冊として世に出た。収載者数は初めて二十一万（実数）の大台を突破した。明治二十二年の関西法律学校第一回卒業生がわずか十七名だった濫觴を思えば、滔々たる大河の趣きがある。この機会に校友名簿の変遷を振り返ってみたい。

法人顧問　**神屋敷　民蔵**（昭4専国）

版ごとに内容が充実される校友名簿
左から大正4年、昭和4年、同17年版
上は最新の平成4年版

## 大正4年に第1号　校友会所管は昭和42年

### イロハ順の大正4年版

現存する最古の名簿は大正四年発行の『学友会・校友会会員名簿』（B六判、百八㌻、イロハ順）である。当時、教務を担当していた垂水善太郎（のち専務理事）の手になった。

在学生が納入する学友会費（年額五円五十銭）によって毎年発行される学友会名簿に独自の財源を持たぬ校友会が〝便乗〟する形で命脈を保った。学友会と校友会の名が並列している所以である。

新卒業生は、関西法律学校（明治三十七年まで）・専門部を通じて毎年二ケタにとどまり、明治末の校友数は計千百七十八名だった。大正に改まって新卒は年百名を超え、「三ケタ時代」が続く。それでも「第一号名簿」（大正四年）の収載者数は千五百余名に過ぎなかった。

### 一口3円の「基金」創設

福島学舎から天六学舎への移転（昭和四年）を前に、教務主任木戸卯之助のアイディアで一口三円の「校友名簿基金」が新設された。この基金を原資に毎年、校友会単独の名簿を発行する計画で、唯一の学内情報誌である『千里山学報』（のちに『関西大学学報』と改称）を通じ「基金納入者には名簿発行の都度無料で送る」とPRした。

同年卒業した私は、木戸主任の世話で母校に奉職、『学報』の編集に携わった。『学報』には校友消息欄があり、学報局が大学と校友との接点になっていたことから、校友名簿の作成も担当することになった。

その年十二月発行の校友会初の「独立名簿」はB六判、四百九十五㌻、五十音順で、登載校友数は五千四百二十九名、その製作費は一冊あたり十七銭であった。大阪で業界三指にはいる谷口印刷所（北区堂島上）で刷った。

### 用紙事情から発行休止

基金による名簿発行は、昭和十二年版で終わる。財政事情からで、『学報』（十三年一月）には「逐年加速度的の会員増加に伴ひ頁数も著しく増大し、本年度は五百頁を突破する状態であります。加うるに物価騰貴に依る印刷費も大約壱千円を要します。然るに…基金残額は弐百余円で…到底発行は不可能です」と説明している。

こうして十三年版からは実費頒布に改められた。それも十七年版を最後に休止に追いこまれる。日中戦争に入って用紙の国内生産が年々減り、十六年に商工省の「統制品」に指定され、校友名簿は〝不急〟として用紙割当が打ち切られたからである。しかし、この戦前最終号は巻末に卒業年次別、学部・学科別索引をつけるなど充実した内容であった。

### 11年ぶり復活した28年版

戦後、校友会組織の再建に力を尽くしたのは、二十二年学長に就任した岩崎卯一であった。大学に渉外局を新設、校友課（課長安井章吾）をおいた。戦禍にあって四散した校友の消息を確認、カード化する作業を始めた。とりあえず第一回評議員選挙（二十七年）に間に合わせて名簿を発行する予定で、朝日、毎日両紙で全国の校友に呼びかけもしたが、戦争の傷痕は深く調査は思うように進捗せず、一年延期となった。安井は二十八年版のあとがきに「住所や職業など不明の人が相当ありますが、不満足ではありますが、遅延しますので住所、勤務先判明者のみ登載します」と、記した。

### 理事長、総務局長の指揮

軌道に乗りかけた校友のデータ収集は、思いがけない災難にあう。三十九年二月二十三日、天六学舎の「学生ホール」から出火、ホール内に同居していた校友課は全焼、営々として集めた資料一切が灰燼に帰した。このため三十九年版の発行計画は頓挫した。

この非常事態に際し、名簿委員会委員長に理事長久井忠雄が就任、総務局長大江久五郎が校友課長を兼務して緊急対策を講じた。すなわち各課から職員を動員して、大学が永久保存している学籍簿や卒業証書原簿を基に、校友カード「原簿」を作った。これに基づいて全校友（九万千六百八十九名）に往復はがきで照会するとともに、朝日、毎日両紙と校友会機関紙『関大』を通じて呼びかけをした。一年後れで発行された四十年版に久井理事長が「この校友名簿は、関西大学のいわば事業報告書のようなもの」と書いている心情もうなずける。このあと四十二年五月、大学の機構改革によって校友課が廃止され、所管事務は校友会に委託された。以来、「正確」「使いやすさ」をモットーに創意・改良を重ね、さらにはコンピュータ化によって効率化し今日に至っている。

---

**おわび**　校友会が平成五年二月発行した平成四年版「校友名簿」の中で、「成山信繁　昭34学一経　物故者」とあるのは、「成山信繁　昭34学一経　大阪トヨタ自動車　〒559大阪市住之江区住之江3―6―2　☎06―671―5177」の誤りでした。ご本人に大変ご迷惑をおかけし、心からおわびいたします。

---

# 商学部が一芸一能入試

## 定員20人　6年度から実施

本学商学部（一部）は、平成六年度からスポーツや文化、芸術などの分野ですぐれた能力の持ち主の「自己推薦入学試験」制度の実施を決め、三月二十四日、発表した。いわゆる一芸一能入試を採用している大学は多いが、関西大学では初めてで、ボランティア活動の分野にまで枠を広げたのは珍しい。学業成績だけで選抜するのではなく、創造性豊かで、フレッシュな感覚を持った個性に富んだ学生を選び、商学部の活性化をはかるのがねらい。

受験資格は、①スポーツの分野で都道府県レベル以上の大会に出場し団体競技は四位以上の成績をあげたレギュラーか、それに準じる者、個人競技は八位以上の成績②文化・芸術の分野で都道府県レベル以上の大会・コンクールに出場し、団体種目は二位相当以上の成績をあげたレギュラーか、それに準じる者、個人種目は三位相当以上の成績③ボランティア活動で社会的に高い評価を得た者④高度な資格や技能を有する者――で、現役生に限られる。

定員は二十人。九月六日から九日まで願書を受け付け、書類選考の上、十月十四日に第一次合格者を発表。十月二十四日、第二次選考（筆記試験＝英語と小論文＝と面接）を行い、十一月十五日に合格者を発表する。

出願書類は、自己推薦書、活動実績報告書、活動の実績を証明する資料など。高校長の推薦は不要。入学検定料は第一次選考二万円、第二次選考一万五千円。ただ、本学社会学部が実施している「スポーツ推薦入学」との併願は出来ない。

ボランティア活動の内容はスポーツなどと違って、客観的なデータがそろえにくい面もあるが、高度な資格や技能には簿記、英語検定なども含まれる。問い合わせは商学部事務室（06・388・1121）へ。

---

# 受賞者に大きな拍手

## 大島鎌吉スポーツ文化賞

### 贈呈式

ジャンプ賞受賞
川本信正氏

ステップ賞受賞
徳永ちよ子氏

一九九二年度の大島鎌吉スポーツ文化賞贈呈式が、三月十三日午後三時から関西大学一〇〇周年記念会館で約四百二十人が出席して開かれ、ホップ、ステップ、ジャンプ、トリプル各賞の受賞者に関西大学学長、大西昭男選考委員長から賞状が手渡された。（受賞者の内容は別項のとおり）

同賞主催団体、関西大学体育OB会一五八二人＋α委員会の北尾郁之介副会長、大西選考委員長らの挨拶に続いて、カール・リゼロット・ディーム研究所（トリプル賞）の代理、大阪・神戸ドイツ総領事館からヘルムート・ヴィーネベルガー副領事が「ドイツにとって大変な名誉であり、感謝します」と、にこやかな表情で喜びを語った。大島さんとは古い友人だったという川本信正氏（ジャンプ賞）は、「（関西大学体育OB会一五八二人＋α委員会の数字をながめながら、約六十年前の一九三四年、甲子園南運動場で大島さんが三段跳びでつくった一五㍍八二㌢の世界新記録を出し、記者として感動しながら記事を書いたことを思い出します」と、話し、大島氏とともにスポーツと平和を考える会運動を展開したことなど、なつかしげに振り返った。

また「なぎなた」の普及に尽力したステップ賞の徳永ちよ子氏も元気な姿を見せ、平成四年度の全日本学生拳法選手権など三つの選手権大会の覇者となった関西大学拳法部（ホップ賞）を代表して出席した拳法部の小野恵司監督と雑古晴弘主将とともに、会場から大きな拍手がおくられた。

閉会後、同じ会場で祝賀会が開かれた。喜びの受賞者を囲みながら、故大島鎌吉氏の思い出話が、あちこちのテーブルで披露された。

◎大島賞

◇トリプル賞（国際スポーツ文化賞）カール・リゼロット・ディーム研究所＝現代スポーツの父といわれたオリンピック研究の第一人者、カール・リゼロット・ディーム博士と同氏夫人のすべてを受け継いだオリンピック研究の総本山。

◇ジャンプ賞（日本スポーツ文化賞）川本信正氏＝オリンピックを表す「五輪」の創作者で、スポーツ評論家としてスポーツの重要性と地位向上に尽力。

◇ステップ賞（関西学生スポーツ文化賞）徳永ちよ子氏＝「武道薙刀」から「競技・体育なぎなた」への変革の原動力になった。

◇ホップ賞（関西大学スポーツ文化賞）関西大学拳法部＝平成四年度、全日本学生、全国選抜大学、全関西各選手権を制し、三冠王に輝いた。

＝＝＝＝＝＝＝＝

---

大阪文化論　その34

# 近代の文学と大阪　③

文学部教授　**吉田　永宏**

## 開高健　「青い月曜日」と「日本三文オペラ」

開高健（昭5・12・30～平1・12・9）は大阪市天王寺区東平野町一丁目二三番地に生まれた。当然のこととして大阪を舞台とした作品が多い。

「青い月曜日」（『文学界』昭40・1～42・4）は「一部　戦いすんで」と「二部　日が暮れて」とから成っており（ちなみにこの題は軍歌「戦友」の歌詞による）、各々の章題の通り、物語はいわば連作のような形で展開するのであるが、「一部　戦いすんで」は戦争末期に当たる作者の旧制中学生時代、「二部　日が暮れて」は敗戦直後から始まって作者の大学生時代（女児の出産まで）を描いた、一つの自伝小説と呼んでよいものかも知れない。開高健が首尾一貫して私小説的感性を否定し続けてきた作家であることは明らかであるが、この「青い月曜日」の素材そのものは作者自身の体験に基づくものであった。試みに、作品世界に当たる開高健の時間を年譜風に辿ってみよう。

昭和十八年　四月、大阪府立天王寺中学校（現・天王寺高校）入学、五月、父死去、同十八日付で家督相続届出、戦局悪化に伴い市内の貯水池や防空壕掘りの作業に学校から駆り出された。昭和十九年　中学二年生、ただし授業は完全に停止の状態で、クラスは国鉄城東線（現・大阪環状線）森の宮駅での乗客整理、八尾飛行場での雑用、和歌山県の山奥での火薬庫造営、国鉄竜華操車場（八尾市）の突放作業などに動員された。昭和二〇年　敗戦を竜華操車場で迎えた。九月より授業再開、経済的ピンチで、健は昼間は通学しながらの継続的なアルバイト生活を始める。昭和二三年　三月、天王寺中学卒業。四月、旧制大阪高等学校文科甲類に入学、この頃「青い月曜日」の素材となっている様ざまのアルバイトを経験。昭和二四年　四月、学制改革により改めて新制大阪市立大学法文学部法学科を受験、合格。昭和二五年　一月、谷沢永一（本学名誉教授）と知り合い同人誌『えんぴつ』に近づく（三号より同人となる）、六月、同誌合評会に初参加の牧羊子と知り合う。昭和二七年　牧羊子の家に移り、七月、長女道子出生。

「青い月曜日」の主人公〈私〉は八月十五日、敗戦を知った。〈感動が起るのを私は待ちつづけた。感動はきてくれなければならないのである。私はおごそかに硬直し、祖国の崩壊に対面して崩壊しなければならないもののようであった。先生ははばかることを知らず、浪費を惜しむことなくひらいていた。私も泣くか叫ぶかしなければならないもののようであった。しかし、私は感動しなかった。いくら待っても感動はどこからもおそわなかった。まったくその気配はなかった。私は冷たく、無感動で、何も感じず、何もうごかず、むしろ先生の激情ぶりに当惑していた〉。少年の背後に存在する作者の強力な眼がここにも感じられよう。

「日本三文オペラ」（『文学界』昭34・1～7）は痛快な哄笑の文学であり、大阪流ピカレスクロマン（悪漢小説）である。

大阪・新世界界隈を徘徊していた一人の浮浪者がある日、「金は出すのやで。それに飯もでるし、服も貸すし、なんなら寝ていってもええちゅうのやが、どうや？」と女にスカウトされ、国鉄城東線・京橋駅近くの貧民窟に連れ込まれた。女はそこを「アパッチ部落やがな」と教えてくれた。トンチャン（臓物焼）を食わされた彼は何も分からぬまま、夜十時ごろから翌朝の四時まで、獰猛な植物を生やす広大な空地で休む暇なく働かされた。仕事の内容は土中に埋まった種々の金属塊を集団で掘り出し、部落に持ち帰ることであった。「……あんさん、ここはなんちゅうとこだんねん？」と尋ねる彼に仲間の一人が答えた、「杉山鉱山や」。大阪市東区杉山町。もと陸軍砲兵工廠があったその広大な土地は、敗戦間際の米軍の爆撃で巨大な廃墟となり、その跡地にはススキの繁茂に覆われた種々の金属塊が残された。古レール、鋼管、鉄塊、鉄骨枠等々。アパッチと呼ばれる奇妙なムラの住人たちは、守衛や警官とイタチゴッコを展開しながら、夜陰に乗じその発掘と密売によって生計を立てているのである。男は以来この組の一員となり、フクスケと呼ばれるようになる。

「裸の王様」（『文学界』昭32・12）で芥川賞を受賞して後、マスコミの激しい攻勢に曝された開高健は一年ほどの間一字も書けない強度の衰耗状態に陥り、気分転換を図るために紀州方面を遍歴した帰途、天王寺中学の旧友であった金木茂信「大阪日日新聞」記者と出会い、彼から〝アパッチ族〟に関する情報を入手した。日本第二の大都市の中心部に三十六万坪（約百十九万平方メートル）にも及ぶ巨大な廃墟があり、そこには大量の金属塊が埋蔵されたまま放置され、それをてんでに掘り起こしている〝アパッチ族〟と呼ばれる奇怪な集団が存在する。この奇怪な事実に開高健が創作欲をそそられぬ筈はない。連載開始の段階で創作方法にも触れて開高健は、「文体や発想法や主題などいろいろな面で私は自分のカラをたえず破りつづけていきたいと思っているのだが、そのきっかけのひとつがこれである。これは泥棒の集団を描こうとしている。最下層の人間たちのうめきとはげしい力と、笑いを私は描きだしたい。それもきわめて単純明快で簡潔な文体で彼らの混沌を描いてみたいと思っている。インテリの青臭い自己省察や内面下降、また私小説伝統の実感主義というようなもの、すべてうそうそとしたものを一掃した作品をつくりだしたいと考えている」（『日本三文オペラ』と格闘」）と抱負を述べているが、それは見事に実現した。この作品の表現上の拠り所は専ら大阪弁の話術で、饒舌体とも言うべきその雄弁術は絶品である。

平野川以南、国道三〇八号線以北のJR環状線の西側に位置するこの地は現在は大阪城公園として美しく整備され、まさにつわものどもが夢の跡と言った思いがする。

---

# 第19回　飛鳥史学文学講座

## 今月からスタート

### 来年3月まで毎月1回

四月から平成五年度の「第一九回飛鳥史学文学講座」がスタートした。関西大学飛鳥文化研究所・明日香村中央公民館主催で、来年三月まで毎月一回（五月から十月までと来年三月は第一日曜、十一月から来年二月までは第二日曜）、午後一時十五分から三時まで明日香村中央公民館（奈良県高市郡明日香村川原、電話〇七四四五四―三六三六）で開かれる。

受講希望者は、当日会場で申し込むか、年額五千円（テキスト代を含む）を振り込む方法がある。申し込み連絡先は〒五六四　吹田市山手町三―三―三五　関西大学教育後援会内「飛鳥史学文学講座係」（電話〇六―三八八―一一二一内線四六四四）。

なお第一回の網干善教文学部教授「祇園精舎の伝承」は四月四日に終了している。第二回からの内容は次の通り。

5月2日＝木下正俊文学部教授「大伴旅人の哀歓」▽6月6日＝横田健一名誉教授「伊勢本街道」▽7月4日＝片桐洋一文学部教授「柿本人麻呂遺聞」▽8月1日＝神堀忍文学部教授「巡行する国守大伴家持」▽9月5日＝薗田香融文学部教授「吉備真備の足跡」▽10月3日＝青木晃文学部教授「天狗、鬼そして怨霊の発現」▽11月14日＝有坂隆道名誉教授「倭の五王」▽12月12日＝奥村郁三法学部教授「古代中国の家族制度」▽平成6年1月9日＝津川正幸経済学部教授「農書にみるわが国の農業」▽2月13日＝上井久義文学部教授「斎宮道をたずねて」▽3月6日＝大庭脩文学部教授「唐船持渡書の研究（その二）」

---

## 応援団振興に　徳山氏30万円

本学理事の徳山喜昭校友会副会長は三月十九日、本学の課外活動（応援団）振興のためにと、三十万円を寄付した。

## 赤井氏さらに一千万円寄付

赤井物産代表取締役会長、赤井常隆氏（7専商、本学評議員）が三月二十六日、母校を訪れ、一千万円を寄付した。すでに設置されている「赤井奨学基金」に充てられる。平成元年、一千五百万円の寄付を受け、同二年同基金がスタートし、その後、赤井氏から寄付が続き、今回を合わせて七千万円に達した。

## 長谷川氏は120万円寄付

本学教育後援会長の長谷川恵一氏は三月十八日、就職指導強化にと二十万円、図書館学生用図書購入のために百万円、計百二十万円を寄付した。

---

## 校友エンブレム

### 申し込み続々　うれしい悲鳴

校友会では関西大学のキャラクターを葦の葉で囲ったデザインの特製「校友エンブレム」を作製、頒布しているが、申込が予想以上に多く、急ぎ追加発注、うれしい悲鳴をあげている。

予約者には、申込順に発送しているが、一つ一つが手作りのため製作が間に合わず、迷惑をかけている状態。

エンブレムは縦八・五㌢、横七・五㌢。頒価は七、〇〇〇円（送料五〇〇円）。希望者は送料を添えて現金書留で校友会（〒五六四　吹田市山手町三―三―三五、電話〇六―三八八―一一二一）まで。

なお、申し込みから送付まで約一カ月の予定。

## 第2学舎1号館　地鎮祭行い着工

千里山キャンパスの第2学舎1号館の地鎮祭が三月三十一日午前十一時から行われ、工事の安全を祈った。

鉄筋コンクリート五階建て（一部地下一階）、延べ約八、四二四平方㍍で、これまでの約二倍の広さ。工費三十一億二千万円で、平成六年三月完成の予定。新学期から使用を始める。

一般教室十五、特殊教室九室のほか、経済、商両学部の一部、二部事務室、出納課、学生控室、食堂、学部長室、経済、商両学部学会室、会議室などが設置される。

関西大学・教育後援会・千寿会ご下命店
学章型薯蕷(上用)謹製
和洋御菓子司
株式会社　昌月堂
〒556　大阪市浪速区難波中3―13―28
電　話（06）641―1666（代）
FAX（06）647―6478
夜間専用FAX（06）634―6565
近鉄百貨店上本町店・大丸大阪心斎橋店・大阪梅田店・神戸店・髙島屋大阪店・阪急百貨店大阪梅田店・千里店　ブライダルサロン
大阪府内・神戸市内、有名ホテル・結婚式場
代表取締役　山本　俊雄（千寿会会員）
専務取締役　山本　雅巳（S53学1法卒）

---

# 60人が出席し盛会

## 商学部末政教授ゼミOB会

平成5年度関西大学末政ゼミ総会

商学部末政教授ゼミOB会が大学の卒業式当日の三月十九日、東洋ホテルで開かれた。

末政芳信教授ご夫妻をお招きし、卒業生を含め約六十人の出席があり盛会だった。

石川会長の司会のもと末政先生の近況報告、大津学生部次長から大学一年間の動きについて報告があり、卒業生を送る言葉として凸版印刷の服部第一営業部長の世渡り処世術を楽しく聞いた。

毎年OB生が数多く出席していただけるのも、末政先生のお人柄と思い、司会者満足のなか、巣立ち行く後輩を拍手で送り出した。（石川　記）

今世紀の激動を生きた人間の哀楽をじかに感じさせる　歌人・井上淡舟の遺作歌集
波動
井上　成章（14専2法）著
短歌研究社　刊
定価1,500円（〒310円）
お申し込みは、送料を添えて、郵便振替・大阪5-20329
〒543　大阪市天王寺区烏ヶ辻1-8-9-704　井上ヒロまで

---

## お悔み申し上げます

宮内大三郎氏（みやうち・だいさぶろう＝9専二国）は、2月20日、病気のため死去。86歳。

青木宣朗氏（あおき・よしあき＝29学一経、貿易商）は、3月5日、肝不全のため死去。60歳。

小倉源吉氏（おぐら・げんきち＝27学二法、元大阪市立淀川区老人福祉センター館長）は、3月10日、肺がんのため死去。66歳。

薮内正信氏（やぶうち・まさのぶ＝薮内正明校友会常議員の父）は、3月12日、老衰のため死去。87歳。

高橋和男氏（たかはし・かずお＝30学一経、元ダイコー鉄工㈱役員）は、3月16日、病気のため死去。61歳。

[illegible]

[illegible]（[illegible]ひろ[illegible]＝22工専、池梅硝子店経営）は、4月3日、病気のため死去。66歳。

雄大な海岸美　緑豊かな山々
山陰の旅情＼香住海岸
新鮮な海・山の幸を料理！　懇親旅行、ゼミ旅行などお気軽にご利用下さい（海水浴の予約受付中！早目にどうぞ）
◆豊富な海の幸　荒磯料理
◆高級和牛のふるさと　但馬牛料理
◆冬の味覚　かに料理（11月初～3月下旬）
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿　はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 07963-6-0773（香住駅から車で4分）
〒669-65　兵庫県城崎郡香住町下浜

めざせ、建築界のスペシャリスト!!
1級・2級建築士養成講座
受講生募集中
新大阪・梅田・難波・京都・神戸・姫路教室
資格取得をサポートする
総合資格協会
関西本部
代表取締役社長　岸　隆司（昭和48年法学部卒）
資料無料送呈　※社員も同時募集しています。
〒532　大阪市淀川区西中島3丁目8番15号　新大阪天祥ビル3号館7F　Tel.06-886-1131㈹
■本　社　東京都新宿区西新宿1-26-2　新宿野村ビル18F　Tel.03-3340-2811
■東京本部　東京都新宿区西新宿7-9-7　ニッカビル3・4F　Tel.03-3366-6411
■中部本部　名古屋市中区丸の内3-22-21　安田火災名古屋ビル8F　Tel.052-953-0471

先生が学ぶ英語教授法
S.I.T.大学院
日本にいながら米国留学
エドモンズ大学
総長　溝田弘利（関西大学30年卒業）
ワシントン州立　エドモンズ大学日本校
〒651-11　神戸市北区山田町小部字大脇山4-1（神戸弘陵学園高校北隣）　☎(078)631-0860㈹

就職あっせん
決断するは今！転職・就職の好機。
多数の企業があなたを求めています
●各職種求人多数あり
経営管理者（営業・総務・経理・企画・貿易・開発・コンピュータなど）
●ご登録・ご相談の秘密は絶対厳守します
●費用は一切不要です
●年令は問いません
★まずお電話ください。（歴送・ご来社も可）詳細お打ち合わせします。
求人も常時受け付けております。
㈱タナベ経営　経営管理者紹介所（愛称　エリートバンク）
〈営業時間〉平日　18：00まで　土曜　12：30まで（日曜・祝日および第2・第4土曜は休み）
労働大臣許可　No.27・コサ・4
〒564　大阪・吹田市江の木町17-10（タナベ経営ビル）
☎06(338)3447